

と精神障がい者支援の充実の考えは。

(答)市長 平成20年度開設の準備を進める精神障がい者支援は民間施設を将来の統合も含め19年より支援する。

(問) レセプト点検の現状と課題は。

(答)市長 国保連合会で審査したものを、再点検し、18年度再審査請求を約3000件行い約2800万円削減した。医療費通知書の確認をお願いしたい。

(問) エコ住宅普及促進に、吉川市街づくり整備基準条例に位置付けを。

(答)市長 重要であり導入を検討する。

(問) 「ミニパリ」の街づくりを提案。

(答)市長 民間のノウハウ、デベロッパーの協力を得ながら研究していく。

(問) 吉川市農業基本条例の制定を。

(答)市長 関係団体等の意見を聞き、研究する。

(問) 温水プール条例の見直しを。

(答)市長 利用者減であり、検討する。

(問) 職員の教育・人材育成策は。

(答)市長 あらゆる機会を通じ努力する。

日本共産党 吉川市議員団

佐藤 清治



(問) 地方自治体の本来の役割は、住民の福祉の維持向上であり、この間、行政改革と称して推し進めてきた福祉施策の切り捨ては、こうした役割と相反するのではないか。

(答)市長 福祉サービス全体では、一定の水準を確保しているものと考えております。

(問) 定率減税の廃止によって収入が増えていないにもかかわらず税額が上がリ、それが保育料に跳ね返る事態も危惧される。子育て支援の点からも大きな問題だ。市の対応は。

(答)市長 国の徴収基準額表の改正内容がはつきりと示された時点で当市の保育料条例を速やかに改正したいと考えております。

(問) 窓口払いの廃止は評価するが他市町での受診についても拡大していくことが求められているがどのように考えているのか。

(答)市長 他市町での受診分については今ままでおり償還払いで実施してまいります。年齢の引き上げは現在のところ考えておりません。

(問) この間の制度改悪で高齢者の負担が増大している。軽減策を実施すべきではないか。家賃補助制度も以前の基準で対処すべきだ。

(答)市長 経過措置がとられており考えておりません。家賃補助制度は現行どおり進めてまいります。

吉川市民会議 議員団

玉川 正幸



(問) 現憲法について、特に9条は世界に類の無い、人類崇高の目標とする平和建設の要です。平和条項が危うくなっていますか。

(答)市長 憲法9条の平和主義の理念は戦後、日本の平和と繁栄に大きく貢献し、今後も我が国の普遍的価値として、維持・発展させる必要があると考えています。国会で十分かつ慎重に論議していただきたい。

(問) 男女の社会活動の参画や、家庭生活と仕事などの両立支援は。

(答)市長 男女が共に働きやすい環境を作るための方策など、全庁的に取り組んでいます。

(問) 市民・専門医・行政組織で予防医療運動を。

(答)市長 市健康増進計画を実施している「特定健診・特定保健指導計画」を推進する中で、生活習慣予防に努めます。

(問) 自主防災組織の今年度の取り組みは、どのような行動計画なのか。

(答)市長 組織率の向上を図るため、講座の開催や地域防災の担い手となるリーダー講習会等を実施してまいります。(組織率62.3%)

(問) 教職員の専門性を高めるのか。

(答)市長 校内外の研修を通して専門性を高め、資質・能力向上に努めます。

自由民主党 吉川市議員団

高崎 正夫



(問) 戸張市長の施政理念と3期目に当たり辣腕を期待されていますか。

(答)市長 市長は施政理念として市民主役により市民と行政が信頼関係を築き協働していくこととしています。そして期待を裏切らない方策は。

(問) 市政の構想推進、実現に向けては国、県の依存から脱却するため知恵と力量を市長3期目にどのようにしますか。

(答)市長 個性ある地方、魅力ある地域づくりが求められます。実現に向けては、私自ら先頭に立ち、創意工夫を図りながら行財政運営に取り組みます。